

海上保安官の仕事について質問する村田さん (左)



南富良野高2年 村田さん

【南富良野】「水泳の経験を生かして人助けをしたい」。南富良野高2年村田希野さん(16)は、テレビ番組のインタビューで、海上保安官になる夢をこう語ったところ、放送を見て心を打たれた海保担当者が同校を訪れ、1人だけの職業説明会を開いた。村田さんは、海上保安大学校進学を目指し、努力を続ける気持ちを新たにしました。

小樽海保職員 番組機に来校、仕事説明

札幌市西区出身で、小樽市で水泳を習った村田さんは小学生のころ、地元イベントで出会った海上保安官に憧れてきた。今年6月、テレビ番組の学校訪問のコーナーに出演し、「夢は海上保安官」と胸を張って語った。

その放送を見た小樽海上保安部の清水洋警備救難課長(51)と同海保巡視船しれこの西佑深主任航海士(25)が9日、南富良野高を訪れ、職業説明会を開いた。村田さんは、救助訓練の様子を紹介する動画や清水課長らの説明を真剣に聞き入った。

村田さんは南富良野高でカヌー部に入部。今夏の全国高校総体にも出場した。現在はキャプテンを務め、顧問の広島昌教諭(24)は「真面目で意思が強い頑張り屋。責任のある仕事に向いていると思う」と話す。

清水課長は「テレビで自信を持って夢を語る姿に感銘を受けた。仲間として一緒に働きたい」と期待を寄せる。西主任も「やりがいのある仕事。女性職員が増えてくれるのはうれしい」とエールを送った。

村田さんは「憧れだけでなく本心になりたい」と実感した。今はとにかく勉強を頑張らないと」と笑顔で話した。

(川上舞)

夢は海上保安官 勉強に熱

TVで「水泳の経験生かし人助けを」